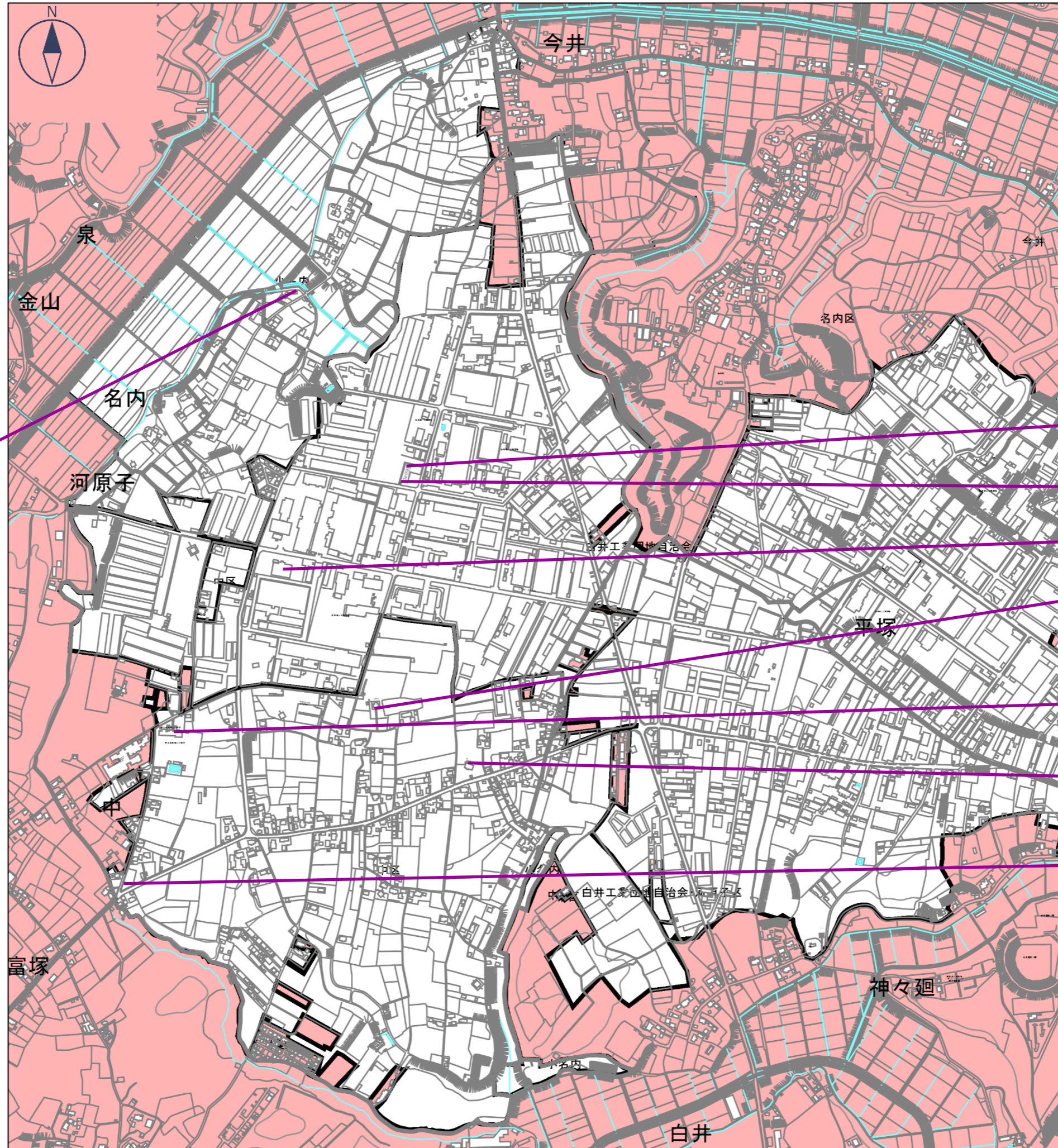


# 第二小学校区 宝物マップ 《小名内》

小名無遅、即ち少彦名の神名からと言われる地名。梨と普通畑作、稲作が盛んで、一部は工業団地に姿を変えている。

## ① 稲荷神社



## 《中》

江戸時代「中村新田」とあり、開発者が住み着いて新しい村となりました。山林と畑の多い地区であったが、昭和40年代に工業団地として道路や諸施設が整備された。

## ② 公民センター

## ③ 権兵衛稲荷

## ④ 白井の湯

## ⑤ 八幡神社

## ⑥ 白井第二小学校

## ⑦ なま街道の水切り場

## ⑧ 庚申塔

## ⑨ 白井工業団地

発行：ワイワイ広場分科会  
(白井市公民センター)  
電話 047-492-5266

### ① 稲荷神社



境内には、お堂があり、稲荷様が祀られ、その前には10基ほどの庚申塔が並んでいる。敷地内には地区の集会所がある。



### ② 公民センター

平成5年に開所したコミュニティセンターで、図書室、児童ルームを備え、各部屋は学習、会議等で活用されている。第二小学校区のまちづくりの拠点としても事業を行っている。

### ③ 権兵衛稲荷

公民センターの西南隅にある。千葉氏の家神と伝えられている。権兵衛なる者、江戸の昔当該神社と係わることによりこの名となる。かつては寂しいところであり、化かされ話が残っている。富塚川上家により守られ、多くの参詣者が訪れる。



### ④ 白井の湯

20年前に天然温泉の湯として開店。地域に根ざした憩いの場となっている。地元農家の新鮮な野菜・果物が集まる旬菜市場も併設している。

### ⑤ 八幡神社

正月にはオビシヤ、夏には大杉様、秋には八幡神社としての祭礼を行い、高齢者が中心になって祈るオコモリもここで行われていた。中地区総出で夏に大掃除も行い、この地域の宗教的伝統行事の拠点である。



### ⑦ なま街道の水切り場

中地区を東西に走る、なま街道のほぼ中央に位置する集会所の脇に弁天池があり、ここは銚子で水揚げされた鮮魚を、江戸まで馬で運ぶ途中、水に冷やした「水切り場」であった。集会所の敷地には、薬師堂、子安観音や弘法大師像などもあり、人々が集まる中心地である。



### ⑧ 庚申塔

寛政6(1794)年、と弘化4(1847)年に建てられたものが現存している。



### ⑥ 白井第二小学校

昭和10年に白井第二尋常小学校として中の鶴喰に創立された伝統校で、豊かな緑の自然に囲まれ、地域の特性を生かした活動、一人一人の個性を伸ばす教育をしており、市内の児童なら学区を超えて入学できる学校である。上級生全員で取り組む太鼓の演奏は見事である。



### ⑨ 白井工業団地

昭和42年(1967)から造成され、今では千葉県一の内陸工業団地となり、約350社が創業している。

機械、鉄鋼、エネルギー、建築工事、金属加工など豊富な業種で色々な要望に応えられる団地である。

